

# プログラミング体験を通して次世代の子どもたちを育み、 地域における ICT 人材のすそ野を広げる

## 1. はじめに～地域活性化に関する プロジェクト支援について～

東北活性化研究センターは、地域・産業の活性化に関するプロジェクトの具体化を支援することを目的に、東北圏（東北6県および新潟県）の地方自治体や非営利団体（観光協会、商工団体、NPO、産業関連団体等）が主体となるプロジェクトに対し、当該機関・団体からの要請に基づき支援・協力を行っている（「地域活性化に関するプロジェクト支援」）。

また、2023年度からは、多様な地域・社会の課題を抱えている東北圏において、官民共創等により関係者のリソースを有効活用しながら地域課題の解決につなげていくため、当該機関・団体に対し、調査研究事業と地域・産業振興事業を統合的に運用・展開し、関係者と連携しながら関連する知見の集積、プロジェクトの発掘・形成・支援を一連の流れで展開している。

2023年度は「公共交通、新たな移動支援サービス」関連をテーマに、移動や買い物困難者対策等の地域課題解決を目指す東北圏の自治体を対象に、解決策（デマンド交通サービス等）を有する事業者とのマッチング支援、専門家と連携した伴走支援等に取り組んだ（機関誌 Vol.55・2024 春季号『2023年度「官民共創プロジェクトマッチング支援事業」の取組概要』参照）。

## 2. 2024年度の取り組み

こうした経緯を踏まえ2024年度は、「地域デジタル人材育成支援」をテーマに、一般社団法人 ICT たらこや（以下、ICT たらこや）がフリースクール「みんなのまなびば ぐるぐるの森」（岩手県盛岡市）において実施する「放課後 ICT<sup>(注)</sup>体験事業」の取り組みを支援している。

ICT たらこやは、法人設立以前から「プログラミングクラブネットワーク仙台(PCN 仙台）」（子ども達にプログラミングを体験する場を提供するサークル活動）や「ロボサバ（ロボットサバイバルプロジェクト）」（小中学生を対象に、プログラミングの学びとロボット製作によるクリエイティブな学び体験、挑戦の場を提供）、「とうほくプロコン」（東北地方の小中学生を対象としたプログラミングコンテスト）等を通じて、子どもたちにプログラミングの楽しさを体験してもらうとともに、大人を含め地域全体の ICT リテラシー向上に資する機会を提供している。

注）ICTとは「Information and Communication Technology」の略称で、日本語では「情報通信技術」と訳す。

ここで、ICT たらこやによる「放課後 ICT 体験事業」の取り組みに対し、当センターが支援することの意義を整理すると以下のことが言える。

■ ICT てらこやの活動は、東北圏全体に ICT 体験を広げるものである。とりわけ「放課後 ICT 体験事業」は、学校におけるプログラミング教育を補完する「学びの機会」を提供し、ICT 人材の育成において地域のすそ野を広げ、企業における人材確保や起業家創出につながることを期待できる。

■ 今回の支援で活動拠点となる「ぐるぐるの森」は、地域におけるサードプレイス（家庭や学校以外の第三の居場所）として位置付けることができ、プログラミング体験を通じて子どもたちが学校以外の場所で新たな学ぶ意欲や作品出品による達成感等を得る機会につな

がる。これは、地方における子どもたちの ICT 体験格差や教育格差等、ICT てらこやが目指す社会課題解決に向けた実践の場としてもふさわしい。

そこで、本特集では、①プログラミング体験事業（プログラミングコンテスト）の実践者、②その活動を支援する行政・民間企業、③子どもたちの学びを支える（見守る）地域サポーター（大人たち）それぞれの視点から、以下の方々に活動（施策）の紹介とともに、活動（または支援すること）の意義・役割、今後の期待・展望等についてご寄稿いただいた。

寄稿者	寄稿タイトル
〈活動実践者〉 株式会社アイティプロジェクト 代表取締役 PCN 仙台 会長 一般社団法人 ICT てらこや 代表理事 荒木 義彦 様	すべての子ども達にプログラミングともの作りの機会を！ ～地域全体で子ども達を育み、サステイナブルな学びの循環社会へ～
〈行政支援者〉 仙台市 経済局 イノベーション推進部 スタートアップ支援課長 酒井 宏二 様	「とうほくプロコン」を通じた起業家精神の醸成
〈民間支援者〉 東日本電信電話株式会社 宮城事業部 ビジネスイノベーション部 まちづくり推進グループ まちづくり推進担当 担当課長 高橋 由佳 様	将来のビジネスパートナーへの成長を願って
〈地域サポーター〉 特定非営利活動法人 子育てひろば夢ふうせん 副理事長 ロボサバ BASE 山元実行委員会 代表 佐藤 作智栄 様	体験から探求へ ～子どもたちを支える地域サポーターの役割～